

第9回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会議事録

1. 日 時 平成26年6月25日(水) 18:30～19:40
2. 会 場 エコーセンター2000 3階 視聴覚室
3. 出席者 長澤座長、久田副座長、高橋委員、本間(文)委員、張山委員、
中川委員、田上委員、中山委員、深川委員、明神委員、加藤委員、
菅野委員

(計12名)

(岩永次長)

本日は大変お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。今日は大変会議が多い日のようで会議を掛け持ちされている委員さんもいらっしゃいます。

定刻となりました。これより第9回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催させていただきます。

本日の懇談会の出席者は8名の委員さんをご都合により欠席されておりますので、12名となっております。定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第6条の規定によりまして、委員の過半数以上の出席をいただいておりますので本会議は成立しておりますことをご報告をさせていただきます。

それでは、ここからの議事進行につきましては長澤座長にお願いをいたします。

(長澤座長)

どうもこんばんは。大変お忙しい中お疲れ様でございます。それでは次第に沿って、早速、進めていきたいと思っております。

議事の一つ目、網走市大空町定住自立圏共生ビジョンの改訂ですが、平成23年9月に策定されて、昨年度2回目の変更をいたしまして、今年度の改訂作業ということで、たたき台がありますので、早速、事務局の方から説明をよろしく申し上げます。

(岩永次長)

それでは、私の方から説明させていただきます。まずはじめに、網走市大空町定住自立圏共生ビジョンの改訂・変更にあたっての基本的な考え方を説明させていただきます。

今回の懇談会と次回、10月に予定しております懇談会での検討を踏まえまして、今年度のビジョン変更を行うものですが、今回は変更案のたたき台として文章の記載、統計資料及び各分野での事業費などの修正箇所を赤字で記載をしております。

それでは各章ごとに説明させていただきます。

第1章につきましては、共生ビジョン策定の経緯などが記載されておりました、本ビジョンの計画期間は、策定当初に決めました平成23年度から平成27年度となっております。今回は変更点などについてはございません。

なお、次期ビジョンは平成28年度から32年度の5カ年を計画期間とし、内容につきましては、来年度、検討・策定する予定となっております。

第2章ですが、圏域の概況と現状を記載しておりますが、計画の基礎となる統計データなどを更新するほか、計画の進捗に則した形で現状と課題について修正を加えております。

4ページから9ページまでは今年度、調査データが更新されないことから修正はございません。11ページの「観光の推移」については、秋にデータが更新される予定となっております。

なお、データにつきましては、10ページをご覧いただければおわかりになるかと思いますが、7年間記載している部分や5カ年分を記載している部分があります。これを最大で過去5年分、5回分に統一して今後は記載したいと考えております。

第3章ですが、圏域の将来像です。ビジョン策定当初からの目指すべき地域の姿を表しておりました、修正はしてございません。

続いて第4章です。協定に基づいて推進する25項目の具体的取組を記載しております。

また、第5章は、第4章で掲載しております具体的取組と関連した個別の事業の一覧となっております、各章それぞれ、平成26年度以降の予算額を修正しております。

個別の修正につきましては、箇所数が多いことから省かせていただきますけれども、ご不明な点がございましたら、後ほどご質問いただければと思います。

このほか平成25年度の各事業決算額につきましては、9月議会を経て公表されるものでありますので、今回は事務局案に反映できておりません。従いまして、次回（10月）の懇談会で対応させていただきたいと考えております。

以上、網走市大空町定住自立圏共生ビジョンの改訂（案）としてのたたき台、事務局案を説明させていただきました。

欠席された委員の皆様にもご意見をいただきたいということでご案内申し上げましたが、特に事務局に届いた意見はございませんのでご報告だけさせていただきます。

（長澤座長）

網走市大空町定住自立圏共生ビジョンの改訂（案）でございますけれども、ただいま事務局から説明いただきました。

今日お集まりの委員の皆様は、それぞれの分野で地域の活性化にご尽力されていると思います。この定住自立圏自体は将来を見据えたものということですので、多くのご意見をいただければと思っております。

実際、この場で全て事業を計画、実施していくことは非常に難しいことだと思しますので、各分野、お立場から考えていらっしゃる地域の課題について、お話をいただきたいということと、あわせて他の分野における色々な課題につきましても情報を共有しようとするということで新たな解決のアイデアなどを議論の中で生みだしていきたいと思っております。

そうしたご意見を、網走市、大空町それぞれで持ち帰りまして、担当部署で、検討させていただきまして、広域的な取組によって問題解決、課題解決を図るという、でき得るならば事業として共生ビジョンに加えていこうと考えております。

そういう点で委員の皆様からご意見、ご質問があればお願いしたいと思っておりますので、その点、今、報告ございました点でいかがでしょうか。どこからでもよろしいですから、ご指摘、ご意見等よろしくお願ひします。

今日は医療関係がご欠席ということで、福祉教育の面でどうでしょうか、ご意見等、あるいは産業振興、広域観光ですね、委員の皆様でご意見、ご指摘等ございませんでしょうか。

大空町商工会の張山事務局長さん何かございませんでしょうか。

(張山委員)

今抱えている問題というか、メイン通りである西通り商店街が後継者不足であるという点が一点と、皆さんもご存知だと思いますが、ホームックの子会社でニコット、それが今年、進出が決まりまして、2、3日前から工事が始まりました。

結局こういう安く大量に販売する業者が、地元業者にとっては大変脅威なのですが、これを止めるということにはならないので、今後、地元商工会の会員で、どのようにしていくかというのと、それと先ほどのホームック店が出てくる前に4月から消費税が上がったということ、なかなか4月以降の売り上げが、今、上がってない状況でありますので、この前、役員会等で、前年12月にプレミアム商品券を販売しているのですが、前倒しをして、7月から約2ヵ月間で2000万ほどの商品券を出そうと、今、計画しています。その結果、それ以降の売り上げがどうなるかという課題もあります。売り上げに対する対策を今後、色々やっついていかないといけないと考えています。

(長澤座長)

この点、大空町どうですか。

(林参事)

中小企業の支援策といたしまして、私どもとしても様々な取組を実施しているところでございますが、今年度、新たに会社を興す企業に係る助成制度を先に行われた町議会において予算措置をされたところでございます。今後も、様々な課題に対して取り組んでまいりたいと考えてございます。

(長澤座長)

地域公共交通関係で、網走バスの明神委員どうですか。

(明神委員)

今回から参加させていただきます明神と申します。よろしく申し上げます。

前回、それからその前、議事録などを読ませていただいて、ここまでの流れという部分で、前回に引き続きとなりますが、今現在の取組をまず、お話させていただきたいと思えます。

昨年末に待合所の整備として、網走市内の2か所、駒場8丁目、潮見10丁目にバスの待合所に屋根、シェルターを建設するという話をさせていただきましたが、今年度も引き続きこの事業に関しましては、これからの建設となりますが、5か所の建設を予定しています。また、バスの時刻表の冊子、新しいものに関しても、今回、ただ時刻の載せるのではなく「路線バスで温泉に行こう」というような目的をひとつ提案して、ただ「バスに乗ってください」というよりは目的を提案しながら、という部分で進めております。

あとは、本当に10人規模で住民の方との意見交換会を先月から実施しておりまして、今週の日曜日にも網走の向陽地区で企画しております。

我々事業者としてこういった小さな取組の積み重ねという部分をこれからも続けたいと思っていますのですが、以前、当社の委員がお話していると思うのですが、補助金をいただきながらも郊外線に関しては年間3000万円の赤字がでている状況で、都市間バスの利益で何とか補って運行させていただいております。こういった厳しい状況の中ではありますが、今回はじめて参加させていただいて、この会の中でこういった役割を公共交通として果たしていかないのか、路線を切らさないということがまず第一であるのですが、色々な産業と横の結びつきを作っていくこと、提案された目的に対して交通の便というものをしっかり提供できるようにと思って参画させていただいております。

(長澤座長)

どうもありがとうございました。以前からもそれにあわせて通学のアクセス改善、乗継だとかを前回発言されてましたので、色々ご尽力いただいております。

実際目的をもってバスに乗ろうという路線バスは、乗り降りの客はどのくらいのも

のですか。

(明神委員)

今、はじめばかりということで、先日発行したんですけれども漠然とバスに乗ってくださいといっても、なかなかうまくいかなくて、どうしても目的があって移動手段としてのバスということになると思います。その中で先ほども申しあげましたけれども、最低限、地域の足としての路線を切らさないという部分以外にも様々な分野と連携しながら目的自体を提案していけるような形でかかわらせていただければと思います。

(長澤座長)

色々な分野の方がいらっしゃるので、例えば病院に通うとか医療関係のご意見とか、また改めて色々と意見交換できると思いますのでよろしくお願いします。

あといかがでしょうか。教育福祉はどうですか。社会福祉関係。

(高橋委員)

網走の本間事務局長さんが、生活困窮者の自立支援法に基づく、活動をやりたいとおっしゃってましたが、地方にも稚内の方でも地域近隣町村を巻き込んだ生活困窮者の自立支援を行っているところもありますので、そういった計画がある際には是非とも近隣の空町も含めて一緒に連携してやっていければと考えておりますので、そういった計画がある場合よろしくお願いします。

(長澤座長)

どうもありがとうございました。あと社会教育の方で何かございますか。

(本間(文)委員)

社会教育、子どもたちの状況なんですけど、空町の場合は、「放課後子どもプラン」ということで、両地区に児童館と、東藻琴地区には生涯学習センターの2階で毎日活動しているのですが、だいたい、1年生、2年生、3年生、また、子どもワールドという形で女満別地区は週3回、東藻琴地区は週1回活動しています。女満別地区は児童館と一緒に活動しています。東藻琴地区の子どもワールドは、学校の教室と体育館を活用して活動しています。ただ、3年生、4年生、6年生を入れても数人です。

やはり児童館に放課後來なくなる年代というか、大人から見られない、どんな生活をしているのかわからないということが、親も今、共稼ぎが多くてなかなか子どもたちの教育全ては、見ることができない状況があるのかなと不安に感じています。そういう意味でも、大人に対する教育、また、小学校高学年以上の居場所という形では、もう少し確立したものがあるといいのという思いがあります。

(長澤座長)

おそらく、子どもだけでなく大人自身の意識も含めた、施設があってもそれをどうやって利用していくかとか、子どもの置かれた状況をきちっと把握するとか、きちんと健全な教育、社会できちんと支えていくというサポート体制が必要だと思います。網走はどうですか。

(久田副座長)

2点ほど、事務局に情報がありましたら教えていただきたいです。

最近、学力低下と言われていますが、学校教育と家庭教育、とりわけ家庭教育が一番大切だと感じていますが、47都道府県のうち北海道が46位です。この管内は中でも若干低めということで、例えば学習塾、今、本間さんが言われました中学校とか小学校高学年になって学習塾に行かれるという方は、大空町の場合は、学習塾が町内にあるのか、もしくは、網走まで来られてるのか情報があれば教えていただきたいです。

この前、社会教育委員会でもあったのですが、基本は家庭教育、学校教育なんですが、社会教育でもやはり今、子どもの居場所もしくは学力低下に何か社会教育として何かできないかというような模索を始めています。

定住自立圏共生ビジョンは27年度までで、それ以降の話になるのかもしれませんが、女満別の国際空港化まで言っているのかわかりませんが、色々な国際的なお客様、もしくは、ロシアが変わって北方領土が返還することもあったとするならば、そんな方向もう次のビジョンの時か何かになるのかわかりませんが、イメージはどんな風に持っているのか教えていただきたいです。

(本間(文)委員)

大空町は町内、女満別地区に学習塾があります。個人指導という形でもやられている方もいますけれども網走に通っている子どもさんもいます。ですからそれぞれが何%ということまでは捉えられませんが、耳にするのは、「家は網走送り迎えなのよ」という人もいますし、町内の人もいますし、個人指導を受けている人もいるという状況です。国際交流については、最近のことはわかりません。

(林参事)

国際化に関する取組といたしましては、町としてそれを特化して取り組む部署を設けているわけではありませんが、国際化ということでいきますと国際チャーター便誘致に関して取り組んでいるところでございます。国際化は重要な課題であると認識しておりますので、空港だけではなく様々な事業について、今後とも、経済情勢等を踏まえまして取り組んでいきたいと考えております。

(長澤座長)

学習塾は、この前も農協の女性部の方と話していたのですが、網走は、町場に学習塾が集中していますから、遠方の方から来ると女満別から来るのとあまり変わらないのです。だからといって農村部に学習塾を作るかという話にもならないですし、今後の学力低下問題の解消を含めて、学習機会を、塾を含めてどうしていくかということが一つの課題となると思います。

空港に関しては、今回、網走市で国際チャーター便、タイですね、事業も色々と考えられているようです。

網走市何かございますか。

(岩永次長)

外国人の観光客の誘致については、共生ビジョン第4章、広域観光のところでいくつか取組が記載させていただいていますが、これらの取組については、定住自立圏の枠組みというよりはもう少し広い、美幌ですとか北見ですとか斜里ですとか、そういうもう少し広いエリアの自治体と連携して行ったり、あるいは、道東というくくりの中で誘致を行ったりしているのが実態です。網走と大空だけで何かできるかは、集客やこちらから先方に行くという集客も含めて、なかなか難しい問題です。

それから税関については、女満別空港に税関職員が常駐しておりませんので、釧路からその都度来ていただくかなければならないという課題があります。

これについては、空港の強靱化と言いますか、充実を求めて、オホーツク管内の期成会を通じて国や北海道に働きかけるといった取組になりがちというのが実態となっています。

いずれにしてもプロモーションしても空港の受入体制が整っていないとタイにしるどこにしる、エージェントが動いてくれないというのが実態です。

(長澤座長)

この周辺町村で道の地域づくり総合交付金でそういうことも含めてやってらっしゃるようなので、またそれを改めて、この懇談会で取り組むかどうかは別としまして、今後、幅広く検討する課題だと思います。

観光の方がどうですか。中山さん。

(中山委員)

観光振興ということになると、今、言われたように海外のチャーター便も重要な案件だと思いますが、この地域に住む者にとって、大空町と網走市の定住自立圏ということですが、空港があるということをオールオホーツク、オール北海道でアピールしていく施策をやっていく必要があると思います。

というのは今、函館まで、新幹線が来ます。この地域は札幌から5時間、6時間かかるという、これは列車においてもバスにおいても同じで多少時間がある人はバスで来るだろうし、コストの問題もあります。突飛でもない提案かもしれないですが、例えば旭川、女満別、帯広を航空機で循環させようと考えたと、札幌に行きたいという人が多いかもしれませんが、旭川に寄ってから札幌に行く、旭川に行きたい人もいるだろうし、観光客も札幌に入った人が女満別に入ってきたりして人の循環が起きる。

それぞれの地域でレンタカーを借りたり、タイなどの外国から来たら、バス乗って旭川に行ったり、網走に来て買い物して帰るといったことが考えられます。これも今までの観光かもしれないけれども、道民の人が住みやすい、利用できる空港があるのだから、自治体として、網走市と大空町ということで道に対してそういうアクションを起こすことが必要だと思います。そこに住む人間にとって空港というものが大事で、高いからみんな乗らないのであって、安ければ乗ります。

町長の話を経験したところで聞いていますが、空港をなんとかしないといかん、空港を活用した活性化を図りたいというのが、農業というのがありますが、そういうのを肌で感じました。そういうことであれば、他のところにはない、網走や美幌を含めても、簡単に空港に行けて、簡単に旭川に行ったり札幌に行ったり、お客さんも札幌に来て余裕のある人は網走に来てということも、広域観光という意味では空港を活用した振興をやっていく必要があると思います。

最近、北見道路がどんどん伸びてきて、再来年には訓子府まで完全につながり、道東道もどんどん伸びて足寄まで来ています。観光ルートが千歳から道東の方へ、帯広の方へ流れている。

旭川は旭山動物園で止まって、富良野で大体止まって、網走ゾーンには余程のルートでないとならないということになると、この網走ゾーンが観光で、芝桜とか、花の時期はいいのですが、それ以外、なかなか人が来てくれないということになりかねない。要請活動などを行っていますから改めてどうだこうだはないですが、定住圏のビジョンの中で高速道路網の整備というかそういうことも訴えていかないといけないと思います。

住んでいる人間の生活とか色々なことを考えると札幌とか旭川になりますので、その2つというか空港活用と道路という、道路と空路を確保できれば、またイメージが変わるのではないのでしょうか。

ある人が言うのですが、結局、都市と都市が空路なり高速道路で結ばれると大きいところに色々な物が全部吸収される。札幌と旭川で考えると、旭川に住んでいても、みんな札幌で用を足してしまう。ただ、今、本州と北海道とで考えると、僕らここにしか住んでいないからわからないんだけど、よそから来た人は北海道は本州と空路や鉄路で結ばれても北海道として引っ張れるものは必ずあるのではないかと、それをよく考えた方がいいのではないかと話も聞きますので、そのようなことも参考にしながら、なんとか交通網、道路網を整備するというのを、ビジョンに入れておいた方

がいいのではないかと思います。

(長澤座長)

どうもありがとうございました。事務局いかがですか。

(岩永次長)

今、ご意見をいただきましたが、まず、空路でいいますと、この地域だけではないかもしれませんが、おっしゃったとおり航空運賃、大空町とも連携しながらスポーツ合宿の誘致なども進めています。そこで必ず言われるのが航空運賃が高いということ。そこがまず解消すべき一番大きなところと思っていまして、そこが解消できれば函館―女満別の空路、安ければそこから北海道新幹線を乗り継いで網走に来るという可能性も広がるのではないかと議論が庁内でもされています。

また、お話にあったように旭川、帯広、釧路、女満別の空港と鉄道を接続をさせて、どこかの空港に入ってもらってどこかの空港から出ていただくのですが、その間を高速化というのが、この地域は峠もあって難しいのであれば、九州のななつ星のような少しゆっくりと回れるような鉄道、あるいは中継点ではバスを使って陸路を使って観光していただくというようなメニューを提供できないだろうかという議論がようやく始まっていると聞いています。

空路と鉄道についてはその部分がありますし、道路については北海道横断道路の建設凍結が解除されたということになっていますので、これをいつまでどのくらいの距離でこちらに伸びてくるのか、といったところがまだはっきりしないところですが、そこにはかなり大きな期待をしたいと思っています。

方向感としては空路、鉄道、道路を組合せた観光のメニューを提供、提案できないかがこれからの課題と考えています。

(長澤座長)

大空町はどうですか。空港活用という点で。

(林参事)

空港があるということにつきましては、観光や産業のみならず地域の活性化を図る上で貴重な財産であると認識しております。この貴重な空港があるということを再認識いたしまして、様々な活性化に向けての取組を継続してまいりたいと考えております。

(長澤座長)

女満別空港は、今、札幌と東京便が大半で、関空、中部国際行きは便数が少ないです。少し道東の立体的な結びつき、それを少し、できればまた各部署に持ち帰ってい

ただ、この共生ビジョンに反映できる部分は反映していくということをお願いしたいと思います。

大変大きな問題ですけれども、あといかがでしょうか。
公募委員の加藤さん。

(加藤委員)

これも当然大事ですが、今、政治の世界が色々あって、そちらの方でずいぶん頭を悩ますことが多いです。今回、9回目ということで初回から参加させていただいているのですが、こういう色々なデータとかをいただいて見ているのですが、公募で僕も来たのですが委員に何をしてほしいのかということなんです。

例えば、国の原子力規制委員会でもそうですが、色々な会があって、委員が集まって、意見を言って、それが次のところでどういった形となるか検証が行われていないと感じています。ただ来て、話して、聞く。聞くことで色々な方の状況だったり、悩みだったり意見を自分なりに解釈して次のところへもって行こうと思うのですが、期間が長いのと検証がないので毎回、また1から考えることになります。それは私だけとか、僕だけのことかなと思うんです。

前にも言ったことがあるのですが、例えば観光、さっきの交通、飛行機とか高速道路とか色々あるのですが、たまたま僕は印刷関係とかデザイン関係なので、先ほど中山さんが言われたように、確かに旭川ー札幌で高速道路ができた時に、旭川の印刷業者がすごく喜んだんです。というのは札幌に打って出られると。ところが実際ふたを開けてみれば、札幌の業者が入ってきた。そして仕事を取られたということなんです。

これはよく考えれば、僕らの業界では普通なのですが、札幌で名刺を刷る業者は名刺だけに特化して、名刺だけの小型の単色機というか1色2色を使って、名刺に特化することで安いコストでできる。ところが網走や旭川とか北見とかは名刺だけでは食べていけないので大型機械も置かざるを得ない。そうすると会社の運営費、経費としてコストに加わってくるということで、競争に耐えられない構造になっている。単純に札幌と旭川が近くなって良かったねということではなくて、今度は逆に旭川と北見、網走となると、それが繰り返されるということがあると思います。

あと、ちょっと話が飛びますが、もともと名古屋に住んでいたのですが、地下鉄が出来ると終点駅はすごく開発されて、活性化して、経済的にも潤うのですが、次にさらなる終点の駅ができると、この間まで栄えていた駅周辺は衰退していく。終点が栄えるシステムになっている。

それと札幌ー旭川ー北見、網走ということと話がずれるのですが、交通と街の衰退とか繁栄は関係あると思います。観光関係の方に仕事などで会う機会が多いのですが、話を伺うと、去年も海外に用事があって行ったのですが、観光というのは非日常というのが常識であって、行った先の日常が観光客からすると非日常でそれが観光という

ものであって、観光客のためにやったことのない踊りをやったり、お祭りをやったり、ものを作るのではなくて、日常がその地域に住んでいる日常が豊かでないと行った人に感動も出せないと思います。だからそこも含めて、ハードの交通とか色々なことも大事ですが、やはり今、住んでいる地域のパフォーマンスが重要ではないかという気がしています。

(長澤座長)

ありがとうございます。

色々なことを幅広くおっしゃったので、一番最後の観光の問題にしても議論すれば尽きないと思うのですが、今の加藤委員の意見に関係しましてどうぞ。

(深川委員)

観光は非常に難しい。燃料代が上がったりすると特に難しいのですが、私は東藻琴なものですから、大空町となって我が町に空港があるという意識だったのですが、空港があるというのが地域的には非常にうれしいことですが、30年、40年前と違って空港が観光になってない。飛行機を見に行行って楽しむ人はもういなくて、いかに早く着いて、早く移動するかという移動手段の一つであって、それを観光の空港にするのであれば、それなりの仕込み、捉え方が大事だと思います。

また、大空町で空港がある、空港があるというより、宣伝は他町村でやってもらう方が効果があると思います。

先ほど、広域観光という話がでたが、先日、オホーツク観光連盟の会議の中で、まだオホーツクというのが知名度がないという意見が出たのですが、私は個人的にですが、非常に腹立たしく感じました。何故かという知床世界遺産というもの兼ね備えていて未だに知名度がないという話にはならないと思います。やはり、そういった感覚の意識改革からしていかなければ、私の地域は大した観光資源などはないのですが、いかに知名度を上げるか、当然、自画自賛をしてうちがこうですああですというのも必要ですけれども、いかに他の地域で宣伝をしてもらえるのかというのが、観光の基礎ではないかなと常に私は考えています。

(長澤座長)

どうもありがとうございました。この点で、事務局から何かございますか。

(岩永次長)

加藤委員さんからいただいた指摘については、耳が痛いところがあります。毎回といますか、前回の会議でも指摘されていましたが、住んでいる住民にとって、この懇談会、圏域で行っていることのメリットとは何なのかという質問がありまして、いくつか医療の面だったり、地域交通の面だったりというのがありますが、それが特

定の人にかかわる部分ということもありまして、なかなか浸透しないといいますが、生活して認知されないという歯がゆさも逆に持っています、先ほどご指摘あったように、ここで示しているデータをどう生かして検証していくのかというあたりを今後についてはもう少ししっかりやらないといけないと思っています。

ご指摘のとおり交通の構造からもたらず影の部分であったり、交通ネットワークの終着点問題についても、今後、北海道横断道を象徴的に考えていかないといけないという課題だと思っています。

また、観光客にとっての非日常性が地元の日常だと、そこを豊かにしなければいけないということについては、網走市では新しい観光計画がつい最近できましたが、その中では網走が他の地域と差別化できるバトルフィールドというか戦って勝てるもの、そこに磨きをかけていこうと、そこは特別変わったことではなくて、普段、市民が食べているものであったり、行っていることであつたりということをもう少し広く伝えていきたいと、そのためには網走に来ていただく交流人口を増やすということについては、もう少し積極的にやっていこうと考えていますし、先ほど申し上げたとおり、合宿に来られる方は最大のリピーターと位置付けておりますので、そういった方たちからの口コミなども大事にしたいと思っていますし、その点については近隣、大空町さんも含めて、2つの町だけではなかなか取組ができませんが、合宿地についても複数の自治体で補い合いながら拡大していこう、オホーツクの環境、スポーツ環境や自然環境や食べ物、栄養の部分、休養ができる、お互いに温泉を持っているという強みを他地域の方にアピールをしていくという取組も一緒にやっていければと考えています。

(林参事)

観光につきましては、それぞれの市、町が各々で取り組むということも当然あると思いますが、周辺の地域が一体となって共通認識を持って、取り組んでいくことも大切と考えています。また、自治体のみならず様々な団体や関係機関などとも連携をして取り組んでいくことも重要かと考えていますので、そういったことを踏まえまして、取り組んでまいりたいと考えているところです。

(長澤座長)

今、お二人の委員がおっしゃられたことを全てここで議論を尽くして結論を出すというわけにはいきませんが、そういった重要な中身も含まれておりますので、特に加藤委員の検証をどうするかなどもありますし、今、人口減少時代で、日本創成会議で、「消滅可能性都市」という人口1万人以下の都市がどんどん増えて、いずれは消滅していくというショッキングなデータが出されました。先ほども言いましたが、札幌とか旭川とか大きい都市にどんどん吸収されることを交通アクセスの向上が促進するという傾向が全国的に出ています。沖縄から東北を含めて、交通アクセスが改善され

ることによってどんどん寂れていくところが増えていくと色々なことが言われていますが、そういった全体状況との絡みでこの地域、網走市と大空町ということですが、自立圏の話で全てそこに放り込んで議論していくというわけにいかなくて、色々な立場もあり、団体と連携しながら最終的にビジョンに盛り込んでいくということになると思います。

ということで、今のお2人の委員さんのご意見について、この場で結論が出るわけではありませんが、あわせて他の方でご意見、ご指摘ございませんか。

菅野委員さんどうですか。

(菅野委員)

先ほどの深川委員さんの意見とも関連してきますが、私、大空町東藻琴地区でおかし屋をやっていますが、この間、旅行代理店の方と話す機会があり、そこでうちのしおりを見てもらったのですが、なるべく地元のものを使おうということで、北海道産、オホーツク産と狭めていこうとしおりにも書いてあるのを見せたところ、北海道産はわかる、でも本州のお客様にはオホーツク産と言っても伝わらない、どこにあるのという感じ。それを聞いて僕もショックを受けて、良かれと思ってやっていたことが逆効果、逆効果ということではないのかもしれませんが伝わっていないというのは正直ショックを受けたところです。

その話の中で聞いたのが、今までツアーのお客様が釧路着でバスで流れてくる、大空町に結構入ってきていたらしいのですが、何か発着料の関係なのか、今年は旭川が安いらしく、旭川に降りるお客様が多くなったと聞いて、それが全て正しいかどうかわかりませんが、それによってバスのお客様は減っているのかなというのが少し心配になりました。

ただ、外国のお客様に関しては、今まで台湾の方が多かったのが、他の国の方も増えていて、また、個人のお客様が増えていると感じています。

外国の女性が2人、個人で店に来てくれた方には全く対応できなくて、本当に片言の英語で対応するしかなくて、バスもないし行き方がわからないということで、しょうがないので送っちゃおうということで送ったのですが、そのあたりの対応の仕方の勉強も必要なのかなと個人的に感じました。

(長澤座長)

どうもありがとうございました。観光の話になると大変なことで、この会のビジョンの中で、観光の項目も文言もございますし、具体的な取組としてもいくつかありますが、今出たご意見、ご指摘をここで全て盛り込むというのは冒頭言いましたとおりに難しい点もありますが、いずれにしても、それぞれの町、市の担当部署で少し今のご指摘をご検討いただいてということもあります。他に、今、オホーツクはおそらく、農産物にもオホーツクブランドというネーミングをつける認証もありますが、オホー

ツクはどうしても海、オホーツク海というのが本州の方のイメージのようです。オホーツク地域というのはなかなか浸透していないのかもしれませんが。オホーツク海の漁協関係でどうですか、中川委員さん。

(中川委員)

今日、はじめてこの会に来させていただきました。色々話を聞かせていただき、観光の方ではかなりご苦労されているんだなということがわかりました。

先ほどオホーツクということでお話がありましたが、水産物、魚で樺太マスをおホーツクサーモンと宣伝しましたが、最終的には樺太マスの方が広く伝わっていてオホーツクサーモンというのはなかなか浸透してないという結果になりました。そのあたりも浸透させるように我々も頑張っているところです。

これとは少し関係ないかもしれないのですが、先ほど長澤座長さんから人口減少というお話があったのですが、今、水産加工の現場で問題となっているのが、熟練した加工、ホタテ剥きの女性が高齢になってきてだんだん辞めていっている。その後に入ってくる人、人口減少もあるが、なかなか定着していただけないという現状があり、今、中国から研修生を受け入れてやっていますが、これもまた、法律的な規制があり、なかなか長く居られない。また、一回帰ってから、また来るといっても期間を置かなければならないということで、網走市にお願いをして、外国人研修生の確保についてご尽力をいただいている最中です。なんとか水産を産業振興という観点から法律の改正をしていただきたいというところがあります。ただ、これは法律的なことなのでなかなかそう簡単にいかないと思いますが、水産加工の現場では問題となっています。

問題提起として、定住自立圏とは関係ないかもしれませんがよろしくお願いします。

(長澤座長)

一次産業の担い手というか、先ほど大空町の商工会でも後継者不足という話も出ましたし、地域でそういう産業を支えていく人々がだんだん高齢化して居なくなっていく、どこでも同じような現象があるのでしょうか、とりわけ水産関係、農業もそうですが、昔いた「でめんさん」も高齢化でほとんどいなくなって、東京農大の学生もかなりの人数が、農家バイトをやっていますが、彼らも4年間しかいないので、安定的に確保するためにも、技術研修生、中国の方がいっぱいいらっしゃいますし、この管内でも、農業でも東藻琴の酪農家にもけっこう何人かいらっしゃいます。そういう意味では、関東圏の千葉とか行けば、中国からの研修生が多くいます。農家の労働力として欠かせない存在になっています。

一方で、観光客としては中国が減っていて台湾、香港、ベトナムが増えているようです。

そういうものはここにどういう形で盛り込むことができるかどうかわかりませんが、一次産業の、加工の担い手問題はどんどん深刻化していくという大きな問題を抱

えているということでご検討いただければと思います。

(中山委員)

中国からの研修生は水産加工場職員の何割くらいになるのですか。

(長澤座長)

道新か何かで数字が出ましたね。水産が、紋別あたりが一番多いという。

(中川委員)

正確な数字はわかりません。ホタテは手で剥かないといけないので、他は、サケだとかは機械化されてほとんど人の手はかからない。ホタテを持っているところは人でやるしかない、なかなか機械化とはいかない。

(長澤座長)

機械化の可能性はあるのですか。

(中川委員)

機械はあるが、人の手には追い付かない。

(長澤座長)

形状を見ないと、センサーで読み取ればいいが、そうはいかない。

一次産業になると労働力対応、おそらく商工会を含めて、あるいは観光、あるいは色々な場面で、担い手、働き手ということで地域の産業を支えているということで非常に大きな問題、それも少し組み込めるか検討をいただきたいと思います。

あといかがでしょうか。一とおりが意見をいただきましたが、これだけはというご意見がございましたら、加藤委員が言われた検証ということについては、このビジョンの中身も毎回、同じ文言がずっと並んでいるわけですが、もう少し報告の仕方を工夫するなど事務局で検討いただければと思います。

(中山委員)

毎回、こういう会議をやって、意見交換を継続しているということが重要だと思います。

(加藤委員)

こういうことをやりましたというだけの話で終わってしまう。

(久田副座長)

打合せをやりながら、ビジョンの内容を検討している。検証といってもここで議論したところを全て施策に反映させることは難しいのではないか。

(加藤委員)

おっしゃるように、ここが市議会とは違うということは理解しています。

(長澤座長)

ここで実践、企画していくということではなく、皆さんからご意見いただいて、色々な分野の方がいらっしゃるので情報共有、この地域の問題、抱えている問題を全面的ではないにしても、断片的な部分でしようが色々な情報を共有をしていくということで、また、改めてそれぞれの部署で検討いただければと思います。

(中山委員)

観光の関係で、23ページ、広域観光でチャーター便とかプロモーション活動を行うということで予算はこうなっていますというのはわかりますが、これに付け加えるとなると空港を活用した道内の観光の整備を要請していくことによって、ここにいる人たちが、住むことができるというか、こういうことを予算のことではなく書いていただければ、委員の皆さんが集まって何か成果を出したということになるのではないかと思います。高速道路の整備の促進をお願いするとか、そんなことを、予算はそこで金を使うということではなく、最後、何が差別化できるかと言え、どこの町に行ってもこれだけ近く、20分、30分で空港にいったってさっと乗れるところはないと思います。

(長澤座長)

かつて駐車場は無料でしたしね。

(中山委員)

道が管理する空港で、道も財政的に厳しい状況だとは思いますが、駐車場を安くすることで消費者が空港を利用しやすくなると思います。

(長澤座長)

千歳空港のように温泉や色々な店を作って、セントレアにも温泉がありますが、特色はあまりない、札幌近郊を含めて人口も多いので、千歳空港は結構にぎわっています。

女満別空港は歴史がありますし、欠航率も最近別として、釧路と比べるとはるかに少ないですので、空港そのものを今、どういう形で活用して、地元の人も含めて魅力ある空港、遊びに行く、食事するのがいいのかどうかは別として、検討していく必

要があると思います。

(深川委員)

土地も場所もあるのだから、本当に利用しやすい空港にするために、乗り降りや荷物の積み下ろしのために5分くらい駐停車可能なエリアを設けてもらえるといいと思います。

(深川委員)

空港の入り口は、バスも止まるし迷惑をかけてしまうが、あれだけのスペースがあるから、ある程度の駐停車可能なエリアを確保できれば、使いやすい空港になるのかなといつ行ってもそう思います。

(長澤座長)

地元の人々の利便性も図っていくということが大事ですね。

(中山委員)

病院の先生方も空港があるから来てくれる。空港がなかったら札幌に行くしかない。東京からも結構医師が来ていて、月曜日は東京から来る医師を待って診療開始時間が遅れるクリニックもあります。空港があるということで医師が来てくれるという現実もあると思います。

(長澤座長)

東京農大も今や93%が都府県出身ですから、地元はほとんどいないわけですので、そういう意味では空港、運賃が高いと、エアドゥで学割とかありますが、時期的にシーズンオフになれば機材が小さくなってしまいます。

7月、8月の休み期間にキャンパス見学会を行うのですが、高校生とその父兄と一緒に都府県から来るのですが、女満別便が満席で釧路空港に降りてバスで来るとか、紋別に降りて来るとか、夏場にはそういう問題もあるのです。それはまた、空港整備ということで色々ご検討いただきたいと思います。

(中山委員)

農大の抱えている問題をどんどん訴えた方がいいと思います。

この人たちは大人しいから、黙ってあまり言わないけど逆に言ったら、そういう行政の人だとか省庁の上の人にどんどん行ってお願いしないと、最後は枠の取り合いになってくるから、農大が存続するためにはどんどん要求しないといけないと思います。

(長澤座長)

農大だけではなくみなさんとご一緒に意見交換しながら、意思統一しながら言うべきことは言っていくということで必要だと思います。

大きな問題から奥の深い問題までございましたが、いかがでしょうか。以上のようなことで、今年度また10月秋にもう一度開催して、5年間に限定したデータや平成25年新しいデータも盛り込まれるようなので、ひとまず一番目の改訂案の意見交換ということでよろしいでしょうか。

議事2番目の今後の懇談会の進め方についてということで、引き続き事務局からご説明をお願いします。

(岩永次長)

それでは説明させていただきます。

まず、共生ビジョンの変更時期についてでございますが、今回、事務局案を作成させていただきましたが、先ほどもご説明させていただいたとおり、平成25年度事業に係る決算がこれから確定されますので、次回の懇談会で反映させる予定であります。

また、掲載しております統計データにおきましても、平成26年度中に更新、発表されるものにつきましては、それぞれ更新させていただきたいと思っています。

また、今回いただいたご意見につきましては、それぞれ網走市、大空町にて担当部署に周知させていただきます。次回の懇談会でその状況をご説明させていただいて、あわせて共生ビジョンの修正案をお示ししたいと考えています。

これらを踏まえて、前年度と同様に、年明け1月を目途に共生ビジョンの変更を行いたいと考えています。

(長澤座長)

どうもありがとうございました。

ただいまの説明に関してご意見等ございませんか。

よろしいでしょうか。

(久田副座長)

進め方なんですけど、簡単な議事録、前回の議事録を簡単でいいので出していただけると積み重ねというか、半年に一回なので忘れてしまいます。

(長澤座長)

かなり詳細な議事録作成されていますよね

(久田副座長)

簡単でいいので、できれば、今回の資料をもらうときに一緒にいただきたい。

(長澤座長)

全面的な議事録もいいが、議事概要のようなポイントだけのものを整理していただければ、皆さんご自身の発言も検証できると思いますので、よろしくをお願いします。

(加藤委員)

懇談会ではなく懇親会にしてほしいと常々言っています。

(長澤座長)

談笑ですので、懇談で。

いずれにしても議事録はあるにしても、議事概要的なものを表に付けて、懇談会の資料と一緒に送っていただくということで、次回からお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。議事録、検証ということが出ましたので、特にそれに意識して考えていきたいと思います。

最後に2番目、その他ですけど委員の皆様から何かございますか。

よろしいでしょうか。

事務局の方から何かございますか。お願いします。

(岩永次長)

1点、事務連絡をさせていただきたいと思います。次回の懇談会につきましては、先ほどの説明の中でも申し上げたとおり10月を予定しております。時期が近くなりました時点でご案内をさせていただきたいと思いますので、ご出席よろしく申し上げます。

また、委員の皆様には懇談会出席に当たりまして報酬と交通費を支給させていただくこととなっています。お支払いに関しては次回懇談会の分も含めてまとめてお振込させていただきたいと考えておりますので、ご承知置きいただきたいと思います。

事務連絡については以上です。

(長澤座長)

みなさんよろしいでしょうか。

それでは時間となりましたので、以上で第9回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会を終了いたしたいと思います。

みなさん長い時間ありがとうございました。